

産経新聞 24.2.11

皇族減少危機を民主議連で訴え 宮内庁長官

宮内庁の羽毛田信吾長官が1月下旬、民主党の「皇室の伝統・文化を守る議員連盟」（中井洽会長）の会合に出席し、皇族減少の危機を訴えていたことが10日、分かった。複数の出席者が明らかにした。現職の宮内庁長官が議員の会合に出席するのは異例で、皇室が抱える課題への理解を政権与党に深めてもらう狙いがあったとみられる。

会合は1月26日に衆院赤坂議員宿舎内で開かれた。羽毛田氏は約15人の出席者を前に「（秋篠宮ご夫妻の長女の）眞子さまや（次女の）佳子さまをはじめ、女性皇族方がご結婚適齢期を迎えられる。皇族方が減る危険度は年々強まっていることは客観的な事実だ」と問題提起した。